

ご挨拶

会長 藤井 輝夫（生産機械46年卒）



会員の皆様方には平素より常盤工業会の事業運営に対しご支援ご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

令和となって初めての新年を迎え、会員の皆様は希望に胸を膨らませてスタートされたものと思います。しかしながら令和2年は世界を震撼させる新型コロナウイルス感染拡大という不幸に見舞われ、世界中が大変な試練を受けることになりました。この原稿を書いている今は4月ですが世界の感染者数は200万人を超え、この会誌がみなさんに届く頃にはどうなっているのか予想が付きません。人類の歴史はウイルスとの戦いであると言われていますが、これほど身に迫って恐怖を感じることは初めての経験です。経済も1929年の世界大恐慌以来の不況と予想され、現在のところ出口が全く見えていません。懸命に対処されている医療現場では感染者の激増により医療破壊の危機にさらされていますが、何とかしのいでこの国難を乗り越えられるよう祈るばかりです。「目に見えない敵」との戦いに勝つためには全世界の医学・工学などの分野の最高レベルの英知を集めて対抗策を講じるとともに人々の節度ある行動が必要となります。全国で活躍されている会員の皆さまにおかれましては自らあらゆる対策をされ、この危機を乗り越えられることを願っております。

さて、昨年工学部は創立80周年を迎えました。これからは次の100周年をめざして事業の更なる充実を図りたいと考えています。そ

のためには財政基盤の強化、すなわち正会員の増強が必要となります。今年度は会員増強プロジェクト活動の最終年にあたり、会員の皆さまにより充実したサービスが提供できるよう考えております。

常盤工業会では、今年度新たな取り組みとして、常盤工業会主催、山口大学工学部共催で卒業生対象講座“常盤アドバンスドレクチャー in Tokyo「未来を切り開く技術開発」”を企画しました。今年度は、卒業生の實近健一氏（工化52）と工学部教員の間普真吾准教授のお二人を講師として、東京工業大学キャンパスイノベーションセンターにて開催予定です。本講座が卒業生の新たな技術開発への触発となり、自らの未来を開発するきっかけになればと思っております。また、この企画が会員同士のさらなる人材交流につながることを期待しています。本年6月に開催する予定で準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症まん延のため、秋に延期としています。詳細は決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

また本年は、令和3年度代議員選挙を実施する年です。選挙の告示は、8月3日に常盤工業会ホームページ上でを行い、8月10日から立候補の受付を行う予定です。詳細はホームページをご参照ください。

繰返しになりますが、本号がお手元に届いたときには新型コロナウイルス感染が終息傾向にあることを願い、秋のホームカミングデーでは元気な姿で再会できることを願っております。皆様のご健康をお祈りしております。